

グループホーム アート園

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------|--|-------|--|
| ・理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | | 地域の方と交流を深め開かれたアート園となるよう理念を定めている。 |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | | 申し送り時に理念を唱和することで、共有している。サービス提供の場に理念を掲げ、常に再認識し又理念の実践に向けて取り組んでいる。 |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | | 玄関と各フロアのエレベーター前にホーム理念・介護理念を掲げている。毎月老人会のサロンに参加させていただき、そこで運営推進会議に参加して頂いている民生員の方と意見交換を行っている。また、家族には、家族会や家族便りにて活動内容を報告しています。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | | 散歩の時等、近所の方と挨拶を交わしたりしている。七夕には、地域の方から笹を頂き、各フロアと玄関に飾っている。毎月老人サロン、町内会の清掃活動に参加させて頂いている。また、いつも参加させて頂いている老人会の方を、お招きしホーム見学をして頂く機会を設けました。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | | 地域の行事(老人サロンや保育園のバザー、公園掃除、敬老会)に参加している。要望があれば、中学生の職場体験学習の受け入れしている。又、利用者の作品を郵便局や銀行に展示させて頂いています。公民館で開催されたAEDの講習会に参加しました。 |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|-----|----------------------------------|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 施設見学という事で地域の方を招き、施設の紹介、園生活の様子を見て頂く事で、地域の高齢者の暮らしに役立つ事がないか話し合いの場を設け取り組んでいる。地域の老人会で行われる清掃活動に参加している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 各フロアーに外部評価係りを設置し、前回の評価を活かし、改善計画シートを作成し、各フロアーにて回覧を呼びかけると共に、ミーティングで報告し、又申し送りノートにて認識できるよう、具体的な改善に向けて取り組んでいる。 | | |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で園の運営、入居状況、活動内容、外部評価の結果と取り組み内容を、報告している。また、地域の方、警察、家族を招いて、離園行為を例に挙げ、離園防止、離園時対応マニュアルの報告を行い、アドバイスなど頂き、新たなマニュアル作成に活かし、セーフティネットワーク作りをした。また、災害時の避難経路などの確認が出来た。 | | |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 判断に迷う時には、市の担当者の方に電話やFAX、メールにて相談する事はあるが、行き来することは無い。 | | 定期的に行き来する機会をもち、情報交換などして行きたい。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 教育委員を設置し、定期的に勉強会で権利擁護事業や成年後見制度について、学ぶようにしている。又、研修会に参加し学ぶ機会がある。資料を各フロアーにてファイルし、スタッフが閲覧できるようにしている。 | | |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会で取り上げ、学び虐待が起こらないように努めている。言葉による虐待について、職員にアンケートを実施し、意識調査を勉強会で報告し、例をあげ虐待とはどういうものなのか、全職員に周知出来るようにして防止に努めている。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時に料金面や医療体制、また事業所のケアに対する方針を伝え、重度化や看取りについての要望を伺っている。家族や利用者の疑問点等を尋ね、説明を行い納得、理解して頂くようにしている。また、園での対応可能な範囲についても説明している。利用者の状態変化で園生活に不都合が生じた場合は家族と今後の対応を相談し進めるようにしている。</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>利用者からの不満などは個別にお話を聞くようにしている。民生員の方に苦情係りをお願いし又、施設長も折にふれ顔を出され、利用者方のお話を聞かれています。出た意見等は、各ユニットで話し合いをし、今後のケアに活かせるようにしている。</p> | | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>担当スタッフより家族便りにて、暮らしぶりや健康状態などしらせている。急に状態変化が見られた時は、電話で報告している。金銭管理については、毎月の使用金の用途や残高を、書面にて報告し確認印を頂いている。職員の異動時には、家族便りにて報告し、園のエレベーター内に写真と名前を掲示している。</p> | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>意見箱を玄関に設置し、苦情や不満などを表わせれるようにしている。家族会を開き、意見、質問、要望など出して頂き、面会時にも、職員から何か無いか問いかけ、出された意見等は、全職員で改善に向け努力している。外部者へ表わせれるよう、運営推進委員のメンバーである民生員の方に窓口となっていて頂いている。</p> | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>定期的に各ユニットの代表者が、参加してのミーティングや全体会議で意見交換や提案を出す機会がある。又、管理者も通常の業務に参加しており、スタッフの意見を聞き、意見交換を行うようにしている。</p> | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>利用者や家族の状況や要望に応じて、職員間で話し合い勤務調整をしている。</p> | | |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>職員の固定化が出来ている。離職者が出た場合は、利用者のダメージを最小限にするように、顔なじみの職員が手伝いに行き、新しい職員が慣れたところに引き継ぎしている。詳細に申し送りをしている。異動の場合は事前に異動さきのユニットへ、顔合わせに行くようにしている。</p> | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------|---|---|------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p> | <p>募集は、性別や年齢等を理由に排除せず、年齢が高くても健康であれば採用するようにしている。現在も、男性、女性の職員、幅広い年齢の職員が勤務し、それぞれの能力が発揮されている。採用後も、外部研修や園の勉強会をし能力を発揮出来るよう配慮している。</p> | | |
| 20 | <p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p> | <p>研修に参加し、勉強会でも取り上げ、職員全員が利用者にたいして人権を尊重するように、より理解を深めるように取り組んでいる。</p> | | |
| 21 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>事業者協議会が開催している研修会に参加する機会がある。参加後に報告書を提出し、勉強会で報告し全職員が研修内容を共有できるようにしている。報告書は、いつでも見れるようファイルし各ユニットに整備している。</p> | | |
| 22 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>研修に参加することで、同業者と交流する機会ができ、意見交換を通して、少しでも質を向上させられるよう努力している。</p> | | <p>定期的に事業所間の訪問を行ったり、意見交換が出来る機会を持てるように、近隣の事業所間にて名簿作りを開始した段階にあります。</p> |
| 23 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>気分転換を計れるよう休憩室がある。施設長が個別に面談を行い相談を受け入れている。ユニット内で話し合いの場を設けている。</p> | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|-----|---|
| 24 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 職員が向上心が持てるように、さまざまな研修に参加できるような機会が与えられている。施設長が定期的に各ユニットを訪れ職員個々の努力や実績、勤務状況を把握している。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 25 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入居前に、施設長が何度も自宅訪問をしたり、面談を行うことで、今までの生活状況を把握し、信頼関係を作り又、本人との会話の中から困っている事、不安な事、求めている事などを聞くようにし受けとめられるよう努力している。 | | |
| 26 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 面談の前に施設長が自宅訪問をした際に、本人とは別に家族などが困っている事、不安な事を理解し事業所としては、どのような支援(対応)が出来るか入居予定のユニットに持ち帰り、職員間でよく話し合う機会を作っている。 | | |
| 27 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 今、必要な支援を見極めて、他のサービス利用可能な事を説明し本人や家族の希望に対し当園で出来ないことに対しては、他機関のサービス(リハビリや整骨院など)利用に結びつけ対応している。 | | |
| 28 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族が見学に来られた時、お茶やおやつを提供し職員や他利用者とコミュニケーションが取れるような場をつくり、雰囲気に少しでも馴染めるようにしている。 | | 一回の見学だけでなく何度も遊びに来て頂き、ニコニコ体操やレクに参加してもらい、家族と相談しながら、本人が納得、安心されたうえで、サービス開始が出来るように取り組んでいきたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 29 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 日々の生活の中で、利用者の得意分野が活かせる、一緒に楽しめるような場を作ったり、言葉かけをしている。食後のかたづけや洗い物など、すすんで行われてます。職員も感謝の言葉が自然に出てます。編み物が得意な方からは、色々教えられる事ばかりです。入居者の不穏時など、別の入居者との信頼関係が出来ており、職員の相談にも乗ってくれま | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|---|------|----------------------------------|
| 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 園で行われる行事など、事前に家族便りや電話で参加を呼びかけ、職員や家族が本人と一緒に楽しい時間を過ごしている。又、園で解決出来ない時は、面会時など家族が来られた時に支援協力を得るようにしている。 | | |
| 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 日常の様子や健康状態などの報告を書き、家族便りを作成している。本人に年賀状を書いて頂いたり、電話を掛けて頂くなど、関係が途切れないように支援し、面会時には、よく家族のことを話されている(心配されている)事を伝え、家族との潤滑油となるよう心がけている。 | | |
| 32 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族の協力を得て外泊や外出をし馴染みの人と会ったり、馴染みの場所に行けるよう支援し、また昔馴染みの方に、電話や手紙が出せれるよう支援している。 | | |
| 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 楽しく過ごせるよう、かるたや、おはじき等を準備し自然と利用者同士が関わり合える場を設けて、遊びに参加されない方も見学されたり、教えて下さったりしている。利用者で、お世話役の方がおられ、困っている事があれば助けて下さる等、利用者同士で助け合う関係が出来ている。 | | |
| 34 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 利用者の受診時に退居された方が入院されている場合は、利用者と一緒に面会に行くようにしている。 | | |
| <p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p> | | | | |
| 35 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者との何気ない会話や、日常の様子などで本人の意向を、くみ取るようにしている。困難な場合は、家族から話を聞き、出来るだけ本人本位に考えるようにしている。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 36 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前に、施設長が何度も自宅や病院など、訪問することで、今までの生活歴や暮らし方を把握するように努め、本人や家族から話を聞くことで、どのように生活をされていたのか、また他機関からの情報提供書で、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め、入居後も折にふれ本人や家族からお話を聞き、情報収集に努めている。 | | |
| 37 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 個別日誌に、一人ひとりの日常の様子や状態の変化等、記録し心身状態の変動を記録することで、現状を把握するようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 38 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人と家族から要望など聞いているが、「特にありません」と言われる事が多く、職員が日頃からのかかわりの中で、本人から聞いた事や職員のアイデアや意見を、気付きノートに書き込んだり、話し合いを行い、チームで介護計画を作成している。 | | |
| 39 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 月評価をし、見直す事で現状をより早く把握できるようにしている。変化が見られた時は、期間途中であっても検討、見直しを家族や本人または、主治医などと話あいながら、新たな現状に合った計画を作成している。 | | |
| 40 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 様子や健康状態、本人が言われた事や気付いた事を個別記録に記入している。これを、共有し介護計画の実践や結果、見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 41 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 整骨院や鍼灸院など、家族や本人の状況、要望に応じ柔軟に支援をしている。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 42 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 老人サロンに参加、書道展に出品、陶芸の先生が来られコーヒーカップ作りを教わる。消防署より防災訓練を指導して頂いている、又警察の協力でセーフティネットワーク作りをしている。 | | |
| 43 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 紙おむつの給付、訪問理容や整形外科ヘリハビリ(送迎つき)の利用を支援している。 | | |
| 44 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に参加して頂いている。不参加の時は、議事録を提出している。 | | |
| 45 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。基本、提携外病院の受診は家族の同行となっているが、状況に応じて職員が同行支援を行う。契約時に、この件を説明し同意を得ている。利用前のかかりつけ医の受診が、不可能な場合は家族や本人と相談し又、以前のかかりつけ医からの情報や、電話連絡をし安心して適切な医療を受けられ、納得されるよう支援している | | |
| 46 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 専門医を受診し適切な診断や治療を受けられるよう支援している。また、職員が相談したり、助言を頂いている。 | | |
| 47 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 利用者の日常の状態を良く知る看護職員を配置している。健康面や医療面での相談、助言、対応など支援している。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|--|------|----------------------------------|
| 48 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院時に、利用者の普段の状況や支援の方法などの情報を、医療機関に提供し安心して過ごせ、スムーズに治療が行われ、出来るだけ早期に退院できるようにしている。又、家族や医療機関と連絡を取り、事業所が対応可能な段階で退院できるよう、情報交換や相談に努めている。 | | |
| 49 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居の面接時に、終末期に対する考えや意向を本人や家族に伺っている。本人や家族の意向を尊重しながらも、終末に対する方針を家族、かかりつけ医、職員で繰り返し話し合い、状態に変化があるごとに、本人の思いや、職員の不安などに注意し、かかりつけ医と相談したり助言を受けながら、全員で方針を共有している。 | | |
| 50 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | かかりつけ医と職員が密に連絡をとり、安心して終末期を過ごせるよう、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。又、利用者の気持ちの変化に、気をつけ「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医と一緒にチームとして、支援に取り組んでいる。 | | |
| 51 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 今までの支援内容など、情報提供書を作成し医療面でもかかりつけ医より、情報提供書を作成してもらい、情報交換をしダメージを防ぐようにしている。 | | |
| <p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 52 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 園の勉強会で、接遇をテーマとして取り上げ、全職員が失礼のないような接し方、言葉かけを意識している。記録などの個人情報の管理は、利用者の目の届かないよう十分に注意している。申し送りは、別室で行っている。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 53 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している | 食事の準備前に、何が食べたいか希望を聞き入れられるようにしたり、水分補給時にも自己決定の支援をしている。また、どちらがいいか、選んでもらえるような声掛けをしている。 | | |
| 54 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 時間の制限は設けておらず、こちらから提案はするがその日の体調や気分に合わせてラジオ体操をされたり、臥床されたりと、一人ひとりの希望と生活習慣にそって支援している。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 55 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 好みの化粧品でお化粧ができるよう、支援している。訪問理容サービスを利用されているが、希望があれば望まれる店に行けるように勤めている。 | | |
| 56 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者と調理準備をし、職員もおなじ物を一緒に食べて、配膳や片付けを一緒にしている。もやしの根とりや皮むき等、利用者のできる力に合わせて支援している。 | | |
| 57 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 希望があれば、状況に合わせて支援している。(酒、おやつ等) 現在、喫煙される方はおられないが、喫煙は決められた場所をお願いし、支援するようにしている。 | | |
| 58 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄表に記録することで、一人ひとりの排泄パターンや習慣がわかり、職員の声掛けやトイレ誘導で、気持ちよく排泄できるようにしている。トイレだと、わかりやすいように目印や矢印を貼っている。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 59 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の好みの湯加減に調整し、ゆっくりと入浴して頂いてる。現在曜日、時間帯が決まっている。 | | いずれは、いつでも入浴できるようにしていきたい。 |
| 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 個人の状況に応じて、昼間に活動して頂くことで、気持ち良く眠れるよう支援している。就寝時間や起床時間は決めていない。状況に応じて休息して頂いている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 61 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 歌、音楽(懐メロ、演歌)、折り紙、読書、編み物、縫物など個々の力に合わせた楽しみ事を、また掃除、洗い物、片付等一人ひとりの生活歴やその方に合った支援をしている。買い物や散歩にお誘いし気晴らしの支援をしている。 | | |
| 62 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買い物と一緒にいき、本人が支払されたり、職員が支払ったりと個人の力に合わせて支援している。また、小遣い帳を付けて頂いている方もおられます。家族の協力を得て、手元に少額のお金を持たれている。 | | |
| 63 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | その日の希望にそって、散歩や買い物への支援をしている。また、リハビリに通われている方は、日常的に外出する機会を設けられている。 | | |
| 64 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 各ユニットで利用者全員と職員で植物園にドライブしたり、全ユニットで花見に行くなど外出の機会を作り支援している。家族の協力を得て、外泊や外出をして頂けるように支援している。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|------|---------------------------------------|
| 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人が電話をかけたり、電話をかけて下さいと訴えられたときは、職員がかけ、本人と変わるようにしている。手紙など、希望があれば葉書や便せんの準備をし、やり取りができるように支援している。 | | |
| 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 本人の部屋やフロアで、お茶をお出しし、ゆっくりと時間を気にされる事なく過ごしていただくようにしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 67 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 正しく理解できるように、勉強会で取りあげている。又、資料を閲覧できるようにしており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日常のケアの中で言葉使いに気をつけ、取り組んでいる。 | | |
| 68 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室に鍵をかける事は無い。玄関は日昼、手動にしている。利用者が出ようとされる時は、止めるのではなく、一緒にでかけたりさりげなく声掛けし、安全面に配慮し鍵をかけないケアに取り組んでいる。又、迷子になられた時には連絡して頂くよう、近隣に案内を掲示している。 | | |
| 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 昼間は利用者が過ごされているフロアに、常に職員が居て見守りをしている。又、夜間は定期的に巡視を行い、安全の確認をしている。昼夜を通して、利用者が思いのままに過ごせるように、プライバシーに配慮し声掛けを行うなど、安全の確認や様子に気をつけるようにしている。 | | |
| 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | ハサミは常に置いてあり、個人の状態や力に合わせて、使用できるように支援している。包丁は夜間帯、日誌などを保管している場所に専用ケースに入れて保管している。 | | |
| 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | ヒヤリハット、事故報告書を作成し、各フロアに回覧し情報を共有し、事故防止に取り組んでいる。行方不明や火災等は、警察や消防署の方に指導、訓練を受けセーフティネットを作り、事故防止に取り組んでいる。 | | 災害時に使用する、個人の病歴などを記載した身分証明書を作っている段階です。 |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 72 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 消防訓練で心肺蘇生法、AEDの使い方の訓練を受けている。又、外部の研修会に参加したり、園内の勉強会で年に一度テーマとして取り上げ、定期的に訓練を行っている。 | | |
| 73 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 火災を想定しての、夜間帯の避難訓練を利用者と共に消防署の協力を得て、行っている。訓練日をお知らせし、地域の方の参加を呼びかけている。地域の方の協力で、避難経路、避難場所の確認が出来、防災マップを作成し、掲示している。また災害時には地域の方に協力を得られるよう民生員さんをとおして、お願いしている。 | | |
| 74 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 入居前の面談時に、過度に抑圧すると本人がストレスを感じられるので、自由に生活していただく事を心がけており、そのさい転倒が起こり得る事を説明し理解して頂いている。利用者の状態を把握し、職員間でよく話し合い、本人の役割を見つけると共に、起こり得るリスクを想定し対応の仕方を検討、把握しそれを家族に対しても説明するようにしている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎日、バイタル測定実施と様子観察で、体調の変化などの発見に努めている。また、記録し少しの変化があった際には、かかりつけ医へ連絡し、受診などの対応に結びつけ又、受診内容を家族に報告すると共に記録し、情報を共有している。 | | |
| 76 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の説明書は、職員が内容を把握できるよう整理しファイルしている。状態変化が見られたら、詳しく記録をとり、症状の変化の確認に努め、かかりつけ医へ報告し、指示を仰ぐようにしている。服薬時は名前の確認、本人の確認、きちんと服薬出来ているか確認、している。勉強会で、薬の副作用について学んでいる。 | | |
| 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 牛乳や芋類といった、食品を採り入れたり、楽しく体を動かせるよう、一緒に歩行したり腹部のマッサージを行うようにし、自然に排便できるようにしている。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後、口腔ケアの声掛けをし、利用者の状態に合わせた介助をするようにしている(見守り、一部介助など)。就寝時には、義歯は、水につけて頂いている。又、外部研修にも参加し園の勉強会にて伝達、講習を行い口腔ケアの重要性を、認識するようにしている。 | | |
| 79 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日の食事量、水分量を記録し、職員が利用者の一人ひとりの状態などの情報を共有している。状態や力に合わせ、キザミにしたり、プリン等を捕食として、提供している。朝のラジオ体操の後などに歌を唄ったり、嚥下体操(パタラカ)を行うように心がけている。 | | |
| 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 園の勉強会で、感染症について学習し、マニュアルを作成し職員が全員が予防や対策に努めている。利用者と共に職員もインフルエンザの予防接種をうけている。ペーパータオルを使用している。 | | |
| 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | まな板やタオルは、毎日消毒し食中毒予防に努めている。冷蔵庫の点検、整理、掃除を行い管理し、新鮮で安全な食材を使用するように努めている。台所周辺、器具などの衛生面に気をつけ保管している。包丁、用具など必ず洗ってから使うようにしている。なるべく、買いだめしないようにしている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 82 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 季節の草花を植え、近所の方や家族が誰でも、ひと休み出来るようベンチを設置している。 | | |
| 83 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関内部には、季節に合った飾りや、利用者の作品を展示し親しみやすくなるように、心がけている。各ユニットの壁には季節を取り入れた飾り付けをし、利用者の部屋の入口に、のれんを掛け不快な光がはまらないよう配慮し、心地よく過ごして頂けるよう工夫している。 | | |

グループホーム アート園

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアーにソファを置いており、気の合った利用者が、雑談したり、歌を唄ったり、ベランダで野菜やお花に水やりなどして、過ごせるようになっている。 | | 共用空間の中でも、独りで過ごせる居場所作りを行う。 |
| 85 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家族や本人と、相談し、家族の写真を飾ったり、使いなれたタンスや布団、お仏壇など置いていただき、本人が心地よく過ごせるようにしている。 | | |
| 86 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 毎朝、起床された後に居室の換気をしている。エアコンの温度は外気との差が±5 位になるようにし、また利用者の様子を見て調整するようにしている。居室やトイレに温度計を設置している。 トイレは、換気扇をつけ、臭いやよどみがないように配慮している。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 87 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下、トイレ、フロアー、浴室などに手すりが設置され、バリアフリーになっており、利用者の身体機能を活かし安全に、できるだけ自立した生活が送れるように配慮している。障害者用トイレがあり、車いすでもゆっくり入れるように、なっている。 | | |
| 88 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 利用者の状態に合わせて、混乱や失敗を防ぐ為に、本人の言葉で、表示したり、目印、矢印など目標の場所まで誘導できるように壁に貼り、出来るだけ自立して、くらするように工夫している。 | | |
| 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 建物の周りや、ベランダに花や野菜を植えており、水やり等の活動ができ又、季節を楽しんだり、成長を見ていく事で、喜びを感じれるようにしている。 | | |

グループホーム アート園

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 90 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 91 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 92 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 96 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 97 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

グループホーム アート園

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今までの生活の延長のように、園でも生活できるよう、その方の習慣などを大切に過ごして頂いています。また、地域の方々より深くお付き合いが出来るように、地域係りを中心に取り組んでいます。